

教授 小野 英一 (Eiichi Ono)

研究シーズ

【法律・政治】

専門

行政学/公益学

研究キーワード

人事行政/行政改革/公益学



研究テーマ

人事行政、公益学に関する研究

研究の概要

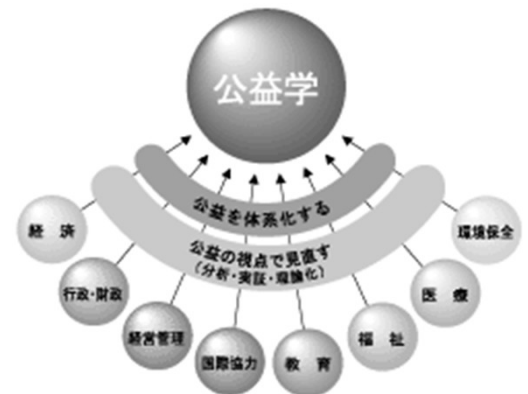
<行政学>

人事行政は「行政の核心」「一切の行政の土台」として行政にとって重要な位置付けにあります。1990年代以降、地方分権改革や公務員制度改革など自治体は様々な変革に直面してきましたが、人事行政においても様々な変革がもたらされてきております。当分野の研究動向を俯瞰すれば、従来の人事行政に関する研究については法令解説・判例解説の域を出ていない法制度の解説、また印象論・規範論を前面に出したものが多く、実態を明らかにしたもの、実証研究が不足していましたが、近年、実証的な研究が数多く現れるようになってきています。人事行政について、先行研究を踏まえながら実証的に分析する研究を目指しております。

<公益学>

初の公益学研究会の学会として日本公益学会が2000年に設立されてから、また公益学に取り組む初の大学として東北公益文科大学が2001年に開学してから四半世紀が経ちました。公益学の起源をどこに求めるかについては様々な捉え方がありますが、以上の点を踏まえれば、2000年頃を1つの公益学の始まりの時期と捉えることができます。つまり、「公益学」という学問が成立してから、四半世紀の歴史が積み重ねられてきたということになります。そしてこの間、公益学の研究蓄積・体系化が進められてきました。こうした公益学の歴史をたどりながら、公益学とは何かについて研究します。

公益学の全体像



(出典) 2003東北公益文科大学ガイド

セールスポイント

- ・人事行政の改革なくして行政改革なし。「行政の核心」「一切の行政の土台」として行政にとって重要な位置付けにある人事行政の改革は行政改革の肝といえます。自治体の人事行政改革により公益実現の社会システムの構築に寄与します。
- ・公益学の歴史についてたどり、公益学とは何かについて研究することにより公益学の発展に貢献します。

想定される用途・応用例・活用例

- ・自治体の人事行政改革についての産学官連携による企画・立案
- ・公益学についての産学官連携による検証・研究